

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第2部門第4区分
【発行日】平成17年6月2日(2005.6.2)

【公開番号】特開2004-142436(P2004-142436A)
【公開日】平成16年5月20日(2004.5.20)
【年通号数】公開・登録公報2004-019
【出願番号】特願2003-326202(P2003-326202)
【国際特許分類第7版】
B 3 2 B 31/10
【FI】
B 3 2 B 31/10

【手続補正書】
【提出日】平成16年10月8日(2004.10.8)

【手続補正1】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項1】
印刷媒体に被覆を施すための装置であって、
ウェブ供給部と、
ウェブ巻き取り部と、
通過する媒体通路を画定する融着器と、
該融着器の下流において、通過する前記媒体通路を画定するウェブ冷却器と、
前記ウェブ供給部から、前記媒体通路に沿って前記融着器および前記冷却器を通過して、
前記ウェブ巻き取り部まで走行する被覆材料ウェブと、
を備える印刷媒体被覆装置。

【請求項2】
前記ウェブ冷却器と前記ウェブ巻き取り部の間で前記前記媒体通路に沿って配置され、
前記媒体通路に突出して前記被覆材料ウェブの通過するにつれ該被覆材料ウェブに接触する剥離棒をさらに備えたことを特徴とする請求項1に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項3】
前記融着器は、互いに係合して融着器ニップを形成する一对のローラを備え、前記融着器ニップは、前記融着器を通る前記媒体通路を画定する請求項1に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項4】
前記冷却器は、互いに係合して冷却器ニップを形成する一对の冷却ローラを備え、前記冷却器ニップは、前記冷却器を通る前記媒体通路を画定する請求項1に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項5】
前記冷却ローラの少なくとも一つは、能動的に冷却されることを特徴とする請求項4に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項6】
前記一对の冷却ローラは、互いにオフセットされ、それにより、前記被覆材料ウェブは、各冷却ローラの周囲を部分的に包むようになっていることを特徴とする請求項4に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項7】

前記冷却器は、前記被覆材料ウェブと接触するローラを備えることを特徴とする請求項 1 に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項 8】

前記冷却器は、前記被覆材料ウェブと接触する能動的に冷却されるローラを備えることを特徴とする請求項 1 に記載の印刷媒体被覆装置。

【請求項 9】

印刷媒体に被覆を施すための装置であって、
媒体通路に近接した回転可能なウェブ供給スプールと、
該ウェブ供給スプールで始まり、ウェブ巻き取りスプールで終わるウェブ通路に沿って前記ウェブ供給スプールの下流で前記媒体通路に近接した回転可能な該ウェブ巻き取りスプールと、

前記供給スプールと前記巻き取りスプールとの間の前記媒体通路および前記ウェブ通路に沿って配置された融着器と、

前記融着器と前記巻き取りスプールとの間で前記媒体通路に沿って配置された冷却器とを備え、

前記媒体通路および前記ウェブ通路は、前記融着器および前記冷却器を通して互いに符合することを特徴とする印刷媒体被覆装置。

【請求項 10】

印刷媒体に被覆を施すための方法であって、
被覆材料および前記被覆材料を搬送する担体を有する被覆材料ウェブを提供する工程と

、
前記印刷媒体に前記被覆材料ウェブを積層する工程と、

前記被覆材料を前記印刷媒体に融着する工程と、

前記被覆材料を冷却する工程と、

前記担体を前記被覆材料から剥離する工程と、

を含む印刷媒体被覆方法。